



北房小だより



○仲よく助け合う子 ○めあてをもって学ぶ子 ○元気よく粘り強い子
真庭市立北房小学校 令和8年3月② 文責 西村欣也

北房小HP

1年間がんばりました! ー児童アンケート結果報告ー

本年度は、児童に学校生活を楽しんで欲しいという思いから、「知(学びを楽しむ)」「徳(学校生活を楽しむ)」をテーマに教育活動に取り組んでいます。その取組についての3学期末の児童アンケート結果をまとめましたのでお知らせします。

□「知(学びを楽しむ)」に関する項目

「めあてをもち、課題を進んで解決し、学びを楽しんでいる。」

目標値- 児童アンケート 肯定的回答85%以上

「学びを楽しむ」評価項目に関する児童アンケート		4月	7月	12月	2月
①学習の見通し	学習のゴールを意識して学習に取り組む。	89%	87%	89%	92%
②めあて意識	めあてをもち学習をする。	86%	85%	89%	91%
③学習への意欲	授業中、進んで学習をする。	84%	87%	89%	88%
	宿題や自主学習に進んで取り組む。	90%	85%	85%	85%
	国語の勉強が楽しい。	72%	79%	80%	82%
	算数の勉強が楽しい。	66%	77%	78%	81%
④学習内容の理解	国語の授業の内容はよくわかった。	81%	87%	91%	92%
	算数の授業の内容はよくわかった。	75%	85%	91%	91%
平均(達成値)		80%	84%	87%	88%

【結果から】

○全体としては目標値を達成しており、校内や家庭等での地道な取組が成果として表れていると考えます。

○学校では、「学びを楽しむ」を研究主題にして授業研修を行いました。授業改善に取り組む中で、児童一人一人の理解や意欲などに着目しながら、全体として丁寧な学習指導に努めたことが「勉強が楽しい。」「よくわかった。」の項目の大きな伸びに結びついたと考えます。

○学校では、「指導の手引き」を作成し、全教員の共通理解のもとに規律など、学びに向かう基盤づくりに取り組んだことが改善につながっていると考えます。児童とともに「なぜ、そうすることが大切なのか。」を問いながら、さらなる定着に向けた努力を継続していきます。

○家庭学習や自主学習の取組については、家庭での取組の様子に差があります。児童自身にもっと「自分を高めたい。」という意識を醸成する必要があると感じます。自分で学習を計画し、実行し、振り返ることができるなど、「自己調整力」を養うことをさらに重視し、今後の指導を続けていきます。



□ 「徳（生活を楽しむ）」に関する項目

「きまりを守って仲よくし、学校生活を楽しんでいる」
 目標値- 児童アンケート 肯定的回答85%以上

「生活を楽しむ」評価項目に関する児童アンケート		4月	7月	12月	2月
①あいさつ、 規律	相手を見て、聞こえる声であいさつをする。	85%	82%	79%	82%
	きまりやルールを守って生活している。	75%	86%	87%	84%
②認め合い	仲よく生活することができている。	90%	92%	96%	97%
	友達は自分のことを分かってくれる。	78%	84%	88%	90%
	自分にはよいところがある。	74%	82%	81%	84%
③学校生活の 楽しさ	学校へ行くのは楽しい。	82%	80%	88%	86%
	学級は楽しい雰囲気である。	81%	82%	89%	91%
④遊びへの意欲	休み時間、進んで遊びに行く。	79%	83%	85%	84%
平均（達成値）		80%	84%	87%	87%

【結果から】

○「徳」についても、全体としては目標値を達成しており、校内や家庭等での地道な取組が成果に表れていると考えます。

○学校では、「学校生活を楽しむ」をテーマにして取り組みを進めた中で、これまで数値が低かった「認め合い」や「学校生活の楽しさ」の項目での大きな伸びがありました。学級づくりや日々の生活指導を行う中で、全教員が児童一人一人を大切に、課題や問題行動に向き合いながら地道な指導に努めた成果が表れたと考えます。児童の気になる様子については、職員会議や職員終礼の際などで全教員で細やかに情報共有を行い、対応に生かすことができたのではないかと考えます。

○「あいさつ」については、これまでの2年間も取組を進めてきましたが、本年度はやや俯瞰的に様子を見守りました。児童の自己評価、保護者や学校運営協議会委員の方の評価からも、登校時や地域での様子の中で達成状況は今一歩であったと感じています。次年度以後も、本校児童の課題として位置づけ、継続して改善に取り組みます。

○規律については、「指導の手引き」を作り、学校では、組織的に指導を行うように努めましたが、児童によってはさらなる指導の継続が必要です。家庭との連携を図りながら、集団生活の場では、ルールやきまりを守ることは大切であることを、しっかりと伝え、向上につながるよう努めていきます。

○学習と同様に、生活の中でも児童自身がもっと自分を律することが本校児童には必要です。生活をよりよくするために自ら主体的、計画的な取組ができるなど、「自己調整力」を養うことをさらに重視し、今後の指導を続けていきたいと思えます。



1年間、温かいご支援をありがとうございました!